

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	GT-B133/ボンフロン防藻水性C-SR工法(サーフェーサーEPO)				
◇適用素地	RC、モルタル、窯業サイディング板、押出成形セメント板				
◇使用材料	下塗	サーフェーサーEPO			15.0 kg / 缶
	中塗	ボンフロン水性GT(艶消)			15.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR防藻			15.0 kg / 缶

工程		使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。					
1	下塗	サーフェーサーEPO	清水 3 ~ 5	0.10 ~ 0.25	1	3h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン水性GT(艶消)	清水 0 ~ 5	0.12 ~ 0.15 0.15 ~ 0.20	1	4h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン水性GT-SR防藻	清水 0 ~ 5	0.09 ~ 0.11 0.11 ~ 0.15	1	—	刷毛・ローラー エアレス
合 計					3		

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン水性GT-SR防藻	○	×	○	×	○

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。
※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので
所要量を遵守して下さい。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点《水性塗料》